

1. 寒冷地での植栽の留意事項

北海道や軽井沢などの寒冷地では、落葉広葉樹と針葉樹が主体で、常緑広葉樹の植栽は難しい。落葉広葉樹が主体となるが、冬の間の緑の景観として針葉樹は重要である。

- ① 現地調査の際、周辺の樹木の調査も行い植栽計画に反映させる。
- ② 灌木や地被植物を選ぶときには、耐雪性なども考慮する。
- ③ 除雪や融雪剤の使用を考慮して、植え込みの高さを15cm以上高くするのが望ましい。
- ④ 雪国では、冬の雪囲いを考慮すると幹で支持する八つ掛け支柱などが適する。

2. 北海道に適する主な樹木

北海道では、ニオイヒバやイチイ、ドウダンツツジ、ニシキギなどが生垣としては使用される。

<表1>北海道に適する主な樹木・植物

常緑針葉樹	(全域)アカエゾマツ、イチイ、ドイツウヒ、プンゲンストウヒ、トドマツ、キタゴヨウマツ、ストロブマツ、キャラボク、モンタナマツ等 / (道南)アカマツ、クロマツ、ヒマラヤスギ、コウヤマキ、スギ、ヒヨクヒバ等
落葉針葉樹	(全域)カラマツ、グイマツ等 / (道南)メタセコイア等
落葉高木	(全域)ギンドロ、ポプラ、ドロノキ、ケショウヤナギ、オニグルミ、シラカバ、ケヤマハンノキ、ハンノキ、ブナ、カシワ、ミズナラ、ハルニレ、ヤマグワ、カツラ、キタコブシ、ホオノキ、エゾヤマザクラ、カスミザクラ、チシマザクラ、ミヤマザクラ、スモモ、エゾノウワミズザクラ、シウリザクラ、ナナカマド、アズキナシ、オオミサンザシ、エゾノキリンゴ、ズミ、ヒメリンゴ、キハダ、マユミ、ツリバナ、ヤマモミジ、ハウチワカエデ、イタヤカエデ、ネグンドカエデ、ノルウェーカエデ、シナノキ、オオバボダイジュ、サルナシ、ミヤマタタビ、ハリギリ、ミズキ、ハクウンボク、アオダモ、ヤチダモ、ライラック、イボタノキ等 / (道南)シダレヤナギ、サワグルミ、クリ、コナラ、ケヤキ、エゾエノキ、シモクテン、ハクモクレン、ヒメコブシ、ユリノキ、マンサク、プラタナス、ソメイヨシノ、サトザクラ、シダレザクラ、マメザクラ、セイヨウミザクラ、アンズ、コウバイ、ブンゴウメ、ハナカイドウ、マルメロ、キングサリー、イロハモミジ、ベニシダレ、アオシダレ、ノムラカエデ、サトウカエデ、トチノキ、ムクゲ、ナツツバキ、ヤマボウシ、ハナミズキ、サンシュユ、エゴノキ等
常緑低木	(全域)クサツゲ、イヌツゲ、ツルツゲ、ハクサンシャクナゲ、キバナシャクナゲ、シラタマノキ等 / (道南)マメイヌツゲ、アオキ、セイヨウシャクナゲ、アセビ、ジャノメエリカ、カルーナ等
半落葉低木	(全域)エゾムラサキツツジ等 / (道南)ベニシタン、コトネアスター、ヒペリカム・カリシナム、ミヤマキリシマ、クルメツツジ、リュウキュウツツジ等
落葉低木	(全域)メギ、ノリウツギ、スグリ、ホザキシモツケ、ホザキナナカマド、ハマナス、ナワシロイチゴ、キンロウバイ、エゾヤマハギ、ミヤギノハギ、ニシキギ、ナニワズ、アキグミ、レンゲツツジ、ヤマツツジ、コメツツジ、サラサドウダン、ナツハゼ、レンギョウ、カンボク、テマリカンボク、オオカメノキ、タニウツギ、ハコネウツギ、ヒョウタンボク等 / (道南)ボタン、アジサイ、ガクアジサイ、ウツギ、バイカウツギ、トサミズキ、ヒュウガミズキ、ユスラウメ、ニワウメ、ボケ、コデマリ、シモツケ、ユキヤナギ、ヤマブキ、エニシダ、ハナズオウ、サンショウ、ウメドモ、ナツグミ、ミツバツツジ、ムラサキヤシオ、サツキ、ドウダンツツジ、ブルーベリー、オオデマリ、ガマズミ等
地被植物・ツル植物	(全域)フッキソウ、ツルアジサイ、ツルシキミ、ツルウメドモ、ナツツタ、ヤマブドウ、ラベンダー、イブキジャコウソウ、ピンカミノール、シバザクラ、ポテンティラ、アルメリア、セダム・アソブム、リシマキア、アジュガ、エゾノチチコグサ、コグマザサ等 / (道南)クレマチス、ミツバアケビ、フジ、ノブドウ、キツタ、ノウゼンカズラ、スイカズラ、ツキヌキニンドウ等
* 参考図書:「北海道の緑化樹」・(社)北海道造園建設業協会	



・冬期の雪囲い



・耐雪性のあるコトネアスターによるグランドカバー



・紅葉を楽しめるニシキギの生垣と石積み



・紅葉樹のヤマモミジ、ドウダンツツジ等



・北海道登別の屋上庭園



・屋上の針葉樹と紅葉樹、ハイバクシン等